

資料2-2

資料2-2

- ・土砂災害警戒区域等の周知
- ・土砂災害のリスク情報の現地表示（標識設置）
- ・防災重点農業用ため池ハザードマップの作成
- ・住民や関係機関が連携した避難訓練の実施
- ・マイ・タイムライン作成の普及と支援
- ・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置
- ・小中学校における水災害教育の支援
- ・要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援
- ・関係機関が連携した水防実働訓練の実施
- ・関係機関による洪水に対するリスクの高い箇所（重要水防箇所）の共同点検の実施
- ・関係機関同士の情報伝達（ Hotline ）の確立
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・水害リスク空白域の解消 等



姫川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～流域全体で“難治の川” 姫川を治める～

● 姫川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】 急流河川特有の洪水流の強大なエネルギーに対する堤防の安全度を確保するため、西中地区において急流河川対策(護岸)を実施。また、上流域の土砂流出抑制等のため、河床低下対策、砂防関係施設の整備、治山対策、森林整備・保全を実施。あわせて、立地適正化計画の策定及び見直し等検討、土砂災害のリスク情報の現地表示(長野県)、防災重点農業用ため池ハザードマップの作成(糸魚川市)、マイ・タイムラインの普及促進・支援、要配慮者施設等における避難計画の作成支援及び避難訓練の支援等のソフト対策を推進する。

【中 長 期】 引き続き急流河川対策を実施し、堤防の侵食に対する安全性が相対的に低い箇所の解消を図るほか、河道掘削および堤防整備を実施し、河川整備計画目標流量に対しての流下断面を確保する。また、上流部でも土砂流出抑制等の対策を継続する。あわせて、雨水貯留施設、透水性舗装について検討整備を進め、流域全体における流出抑制を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	急流河川対策、堤防整備 等	高田河川国道事務所		
	河床低下対策 等	長野県		
	砂防関係施設の整備	松本砂防事務所、新潟県、長野県		
	治山対策	上越森林管理署、中信森林管理署、新潟県、長野県、糸魚川市、大町市、小谷村		
	森林整備・保全	上越森林管理署、中信森林管理署、新潟県、長野県、大町市、小谷村、森林整備センター		
	雨水貯留施設の整備検討	糸魚川市		
	村道等における透水性舗装の検討	小谷村		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定及び見直し等検討	策定:大町市、小谷村、白馬村 見直し等検討:糸魚川市		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策	高田河川国道事務所、新潟県、長野県、糸魚川市、大町市、白馬村、小谷村		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

